

どこに避難するか？

いざという時に慌てないために、日頃から避難に必要なものの準備や避難の手順、経路などを確認しておき、ラジオ等で正確な情報を集めながら、2人以上で行動しましょう。

浸水の恐れがある場合や 避難勧告等が発表された場合

安全に避難所へ行ける
場合は…

開設された避難所へ避難
(ハザードマップ記載)

※自主避難の場合は、市役所に連絡を！

すでに浸水が始まり、避難所
に向かう方が危険な場合は…

無理な避難はやめて、自宅や近くの
丈夫な建物の2階以上に一時避難
(水が引くのを待ちましょう)

道路が浸水している場合の危険箇所

坂道・側溝・水路・ため池など、危険が予想される箇所にご注意ください。



坂道では、水深が浅くても、水の流れが速くなるので危険です。



側溝などは、見えにくいので、落ちて流される危険があります。

市街地の危険箇所

■アンダーパスの浸水



アンダーパスとは、鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。

近年多発する集中豪雨(ゲリラ豪雨)により、アンダーパス浸水による車両の水没も多発しています。大雨時の通行は、迂回するなどの危険回避を優先しましょう。



森合ガード下のアンダーパス浸水

■地下空間での浸水に注意！

市街地には、地下通路、地下駐車場などがあります。地下は水が流れ込みやすく浸水の危険が高い場所です。大雨や洪水時は注意が必要です。

出入口の外側からの浸水の場合、
水圧でドアが開けないことがあります。

